

テレマカシーとは? ▶ Terima kasih=インドネシア語で感謝を表す言葉。在宅で看取らせていただいたある方は海外旅行が大好きでした。その方が最期にご家族に残された素敵な言葉を使わせていただきました。

おかげさまで 5周年

風薫る季節となりました

多くの皆様に支えられて、ひばりクリニックは、この春、お蔭さまで満5歳になりました

これからも、初心を忘れず精進いたしますので、よろしく願い申し上げます

ひばりクリニック 高橋 昭彦



春の空を元気に泳げ! こいのぼり

クリニックのすぐ前に宇都宮市農林公園「ろまんちっく村」があります。安くて新鮮な野菜の直売所や、地元そば粉を使ったそば屋さんがあり、多くの人でにぎわいます。春の空、ろまんちっく村では「こいのぼり」が元気に泳ぎます。お天気のいいときに、ぜひお出かけください。



さくら



ミモザ



● ひばり畑にあらわれた野鳥とは?

3月11日のことでした。3年目のひばり畑を耕していました。すると、一羽の野鳥が畑に降り立ちました。畑に虫でもいるのか、近くにいても逃げません。木立と畑を行き来しながらひと時を過ごしました。おなかは茶色、大きさはすずめより少し大きめです。なんという鳥でしょうか? ご存知の方がいらしたら教えてください。

「基本理念」からみた、ひばりクリニック

～ 5年間でふりかえって～

● ひばりクリニックは、目指す活動を行うための拠点であり、手段と考えています。開業前に、どんなことを目指すのかを考えて文章化したのが「基本理念」です。これは本当にやらねばならないことなのか？ と思ったときは、待合室に掲げてある基本理念にもう一度戻って考えます。

1 在宅で過ごされるご利用者に「出前の医療」を提供します。

- 2002年 5月 グループホームの在宅医療を開始
- 2002年 7月 がん末期の方の在宅医療を開始
- 2002年 10月 金曜日は外来診療を中止し、終日、在宅医療の日に
- 2003年 2月 人工呼吸器をつけた子どもの在宅医療を開始
- 2005年 3月 より重度の方を受けするため、月1回訪問の方の在宅医療を中止
- 2006年 4月 24時間往診体制を行う「在宅療養支援診療所」になる

これまで、3歳から99歳までの108人の方に訪問診療を行いました。32人は在宅でお看取りし、33人は継続中。他に入院・入所・転居・転医・卒業の方がおられます。

<偉大なる母>

普段はあまり行き来のなかったご家族が、女性が最後までグループホームで過ごせるようにと一致団結。スタッフもご家族も懸命に支えて看取りのときを迎え、最後は家族が1つにまとまりました。ゴッド・マザー、最後の仕事でした。

<卒業>

男性はうつ病で外出ができなくなりました。精神科に相談しても往診できないといわれ、在宅医療でうつ病の治療

5年間の活動ができたことに感謝。心と体も大切にしながら、今後も必要なことをやっていきます。(高橋)

を開始。訪問看護も導入し、変化は徐々に現れました。男性はパジャマから普段着に着替え、近所を散歩します。やがて奥様と一緒に買い物に行けるようになりました。要介護状態を脱し、在宅医療は2年半で卒業となりました。

<在宅医療—今後の展望>

人工呼吸器をつけた方やがんの方の相談があると、事前のやり取りも増えます。この春から内納(うちのう)看護師が入り、ご利用者を一緒に把握することを始めました。医師は1名ですので、連携医師や訪問看護ステーションとの綿密なやり取り(ゾーン・ディフェンス)が今後のポイントなると思っています。

2 子どもからお年寄りまで診る「家庭医の機能」を提供します。

- 2002年 5月 9日 外来診療開始 初日のご利用者は3人でした
- 2002年 5月 小児の予防接種・4ヶ月・10ヶ月検診開始
- 2003年 10月 インフルエンザ予防接種外来を開始(10-12月)
- 2006年 4月 心療内科標榜(完全予約制)

<小児科の外来>

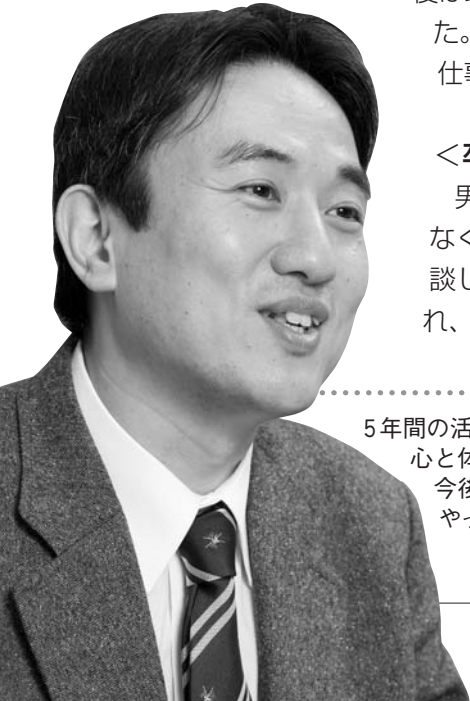
2006年度、外来利用者の42.8%は小児でした。診察用の椅子によじ登るお子さんに様子をきくと、「コンコンとハナ」、「ねっ」、「のどいたい」など、お話できる子ならたいてい答えられます。予防接種は3歳以上の場合、納得の上で注射します。「闇打ち」をするよりも、本人の自覚が芽生え、しかも安全です。

<カルテは家族単位の番号で>

電子カルテの番号を家族単位にしています。20010の方と同じ家族の方は、20011、20012となっていきます。ついでに家族もという方も増えてきましたので、カルテ番号は威力を発揮しています。これまで、約1030家族の方に利用していただきました。

<外来診療—今後の展望>

週4日午前中だけの外来ですので、皆様にはご不自由をおかけしています。午前中に往診依頼があると、時には外来時間中に出動することもあります。在宅療養支援





診療所としてご理解をいただきながら、できる範囲で外来診療を行っていきます。

3 障がい児・者やお年寄りの生活を支える「市民活動」を支援します。

<役員として関わった特定非営利活動法人(NPO)>

- ひばり会 理事長(発展的解散)
……グループホーム・宅老所・ケアマネ・宅配給食
- 咲くらん坊 監事(退任)
……子育て支援・ファミリーサポートセンター
- だいじょうぶ 理事(継続)
……虐待を受けた子どもと母親の支援
- ちえのわ 副理事長(継続)
……障がいのある子どもと保護者・支援者の集まり

<関わっている主な任意団体>

- 人工呼吸器をつけた子の親の会(バクバクの会)
……賛助会員
- 在宅ケアネットワーク・栃木 宇都宮地区世話人
……2月11日在宅ケアの集い
- サンクスV倶楽部 代表
……とちぎボランティア・ネットワークの応援団
- 在宅緩和ケア懇話会
……がん末期の人を支える病院医師と往診医の集まり

<市民活動—今後の展望>

活動の原点はボランティアなのですが、昼間は余裕がないので、今は休日や夜の時間しかあてられません。緊急の往診があるとそちらを優先するため、活動自体がおろそかになります。とちぎボランティア・ネットワークの矢野正広さんは、日本にも寄付の文化が必要だといわれますが、待合室にある募金箱には、多くの浄財が集まります。私も自分で行けない気持ちをお金に託しています。が、自分がやらねばならない活動は続けます。

4 おわりに

時間と能力は限られていますので、十分なことはできていないかも知れませんが、5年間の活動ができたことは、皆様とスタッフのお蔭と感謝しています。心と体も大切にしながら、今後も必要なことをやっていきます。

感謝。

人工呼吸器をつけた子どもに関心のある皆様へ『人工呼吸器の勉強会』のお知らせ

いつもご理解、ご協力をいただきありがとうございます。昨年の吸引の勉強会に続き、人工呼吸器についての勉強会を開催します。安全によりよい生活を送るために、バクバクっ子のパートナーである人工呼吸器に関して理解を深めたいと考えております。

日時 平成19年6月3日@ 13:30~15:30

場所 宇都宮市姿川地区市民センター
(宇都宮市西川田町805-1)

会費 500円(資料代)

主催 人工呼吸器をつけた子の親の会(バクバクの会) 栃木支部

* 今回の内容は、人工呼吸器の代理店3社による具体的な話と自治医大小児科森先生からの助言、意見交換です。定員70名ですので、バクバクの会の会員と関係者が優先となりますが、ご興味のある方は、お近くの会員か石塚さんまでお問合わせ下さい。

問い合わせ 電話&FAX 0296-32-7899 石塚さんまで



テレマカシー 11号に寄せられた感想から

● 「人工呼吸器をつけたお子さんの預かりサービスやります」について

高橋さんらしい、熱意のある志だと思えます。私なりの意見を言わせてもらいます。サービスのコストをどのように取るかを少しは考えた方がいいと思います。お金のことを言うのは、卑しいと思うかもしれませんが、サービスが長続きする為には、もっとも必要で大切なことではないでしょうか。(千葉県 Iさん)

● 「ひと言」

お送りくださる「テレマカシー」は、いつもながいことかばんの中に持ち歩いていて、少し落ち込んだ時などに引っ張り出しては読み返し、元気をいただきます。(東京都 Yさん)

♡ 切手をお送りいただきました皆さん、ありがとうございました。<(_)>

能登半島地震への募金ありがとうございました

● ご支援いただいた募金は皆様のお気持ちとともに、4月16日、29,402円をとちぎボランティアネットワークへ送金いたしました。ご協力ありがとうございました。引き続き、能登半島地震とソロモン諸島地震の募金をお受けしております。

《 T-プロジェクト・ニュース 》

T-プロジェクトは、人工呼吸器をつけた子どもの預かりサービスの構築を行うために始まった事業です。人工呼吸器をつけた子どもに深い関心をもつメンバーでプロジェクト会議、視察、預かりの試行を行い、「やる気」、「適切なケアが行える人材」、「預かる仕組み」の3つが確保できれば、規模の小さな診療所であっても、人工呼吸器をつけた子どもの預かりサービスが可能であることを実証したいと考えています。



「尊君・お母さんとT-プロジェクトの皆さん」
T-プロジェクトチームのメンバーが尊君の家を訪れました。
前列中央が、尊(たける)君とお母さんの千寿(ちず)さん
後列向かって右から、市川さん、檜山さん、内納さん、金子さん、関口さん、高橋

● 在宅医療助成金が決定されました

勇美記念財団「障害者のための在宅医療」として、人工呼吸器をつけた子どもの預かりサービスの構築に110万円の助成金をいただきました。やると決意してから年末に申請し、2月に決定通知がきました。2007年度はこの助成金を原資にプロジェクトを行います。

- T-プロジェクトの中核を担う内納静子看護師が、2007年4月よりひばりクリニックの常勤看護師になりました。皆様、よろしくお願いいたします。

● 4月14日にT-プロジェクト会議が開かれ、理念が決定されました。

T-プロジェクトの理念

T-プロジェクトでは、以下の理念に基づいて、人工呼吸器をつけた子どもの預かりを行います。

<安全>

人工呼吸器をつけた子どものケアを安全に行うためには、熟練が必要です。

T-プロジェクトでは、「技術」、「知識」、そして「あたたかな心」のそろったスタッフを中心にケアを行います。

<情報>

情報の共有と開示は、安全と安心につながります。

T-プロジェクトでは、ケアに必要な個別の情報や預かったときの情報を、スタッフと本人・保護者が共有し、必要なやり取りを行うことによって、情報を生かします。

<遊び>

子どもにとっては、楽しく、快適なサービスである必要があります。

T-プロジェクトでは、単に預かるだけでなく、子どもの楽しみ、育ちにつながる遊びも取り入れたケアを行います。

<参加>

人工呼吸器をつけた子どもは少数派の少数派であるため、関わる人も知る人も多くありません。

T-プロジェクトでは、安全性は保ちつつ、人工呼吸器をつけた子どもに関心のある人がケアに参加できる環境を整え、理解者や支援者が増えるように働きかけます。

<提案>

どんな重い障がいをもつ子どもであっても、地域で安心して暮らしていく権利があります。

T-プロジェクトでは、どのような環境で、どのような方法で、どのような人がケアを行えば、人工呼吸器をつけた子どもの預かりサービスが成り立つのかを検証します。同時に、経済性についての検討も行います。そして、人工呼吸器をつけた子どもと家族が、地域で安心して暮らしていくために必要なサービスについての提案を行います。

「ひばりクリニック」のご案内

● 診療時間 ●

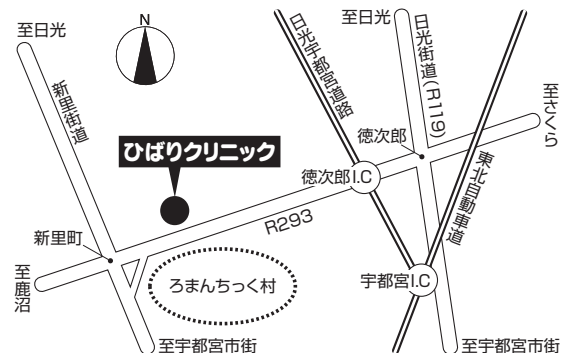
時間	日	月	火	水	木	金	土
9:00~12:00	(休)	○	○	(休)	○	訪問診療	○
午後 (在宅医療)	(休診)	訪問	訪問	(休診)	訪問	訪問診療	訪問

● ひばりクリニックの運営理念 ●

- 1) 在宅で過ごされるご利用者に出前の医療を提供すること
- 2) 子どもからお年寄りまで診る家庭医の機能を提供すること
- 3) 障がい児・者やお年寄りの生活を支える市民活動を支援すること

この通信は、子どもから大人まで、障がいのある人もない人もどんな人も社会から排除されることなく、地域で一緒に生きていける世の中を目指して、ひばりクリニックが企画・編集しております。この通信についてのご意見・ご感想はひばりクリニックまでお寄せください。

栃木県宇都宮市の西北部、新里町(にっさとまち)にある、ログハウス風の小さな診療所です。



〒321-2118 栃木県宇都宮市新里町丙357-14

TEL 028-665-8890 FAX 028-665-8899

E-mail hibari-clinic-01@theia.ocn.ne.jp